

海を照らす灯台のなかまたち (19)

～三瓶高島灯台～
(みかめたかしまとうだい)

三瓶町の中心部から、今度は国道378号を西予市明浜町方面へ向かうと旧三島村(有太刀、蔵貫、皆江、下泊)と集落が続く、かつては、明浜町田之浜へのバス便もあったが、通学に利用していた高校生も少なくなり廃止されている。



沿線の蔵貫には「めだかの里、あじさいロード、ホタルの里」など見所も多い、絶滅の危機にある「めだか」を復活させようと蔵貫地区の壮年グループ「めだかの会」が鰻(うなぎ)の養殖場跡地を利用して飼育している。

東屋や水車を配置するなど、日本の昔の情景が思い浮かぶ空間になっており、のんびりと「めだか」の観察ができます。

下泊地区には民宿「シーサイドうわかい」もあり、遊漁船、渡船、貸しボートなど扱っています。

また藩政時代を偲ばせる立派な庄屋長屋門も残っています。

漁のまち、釣りのメッカのまち三瓶らしく、魚に対する愛着心も

深く、魚たちの霊を弔い豊かな幸を与えてくれる海に感謝を捧げるための魚霊塔が静かに宇和海に向かって佇んでいます。

ここからは遠く佐田岬半島まで見渡すことができます。

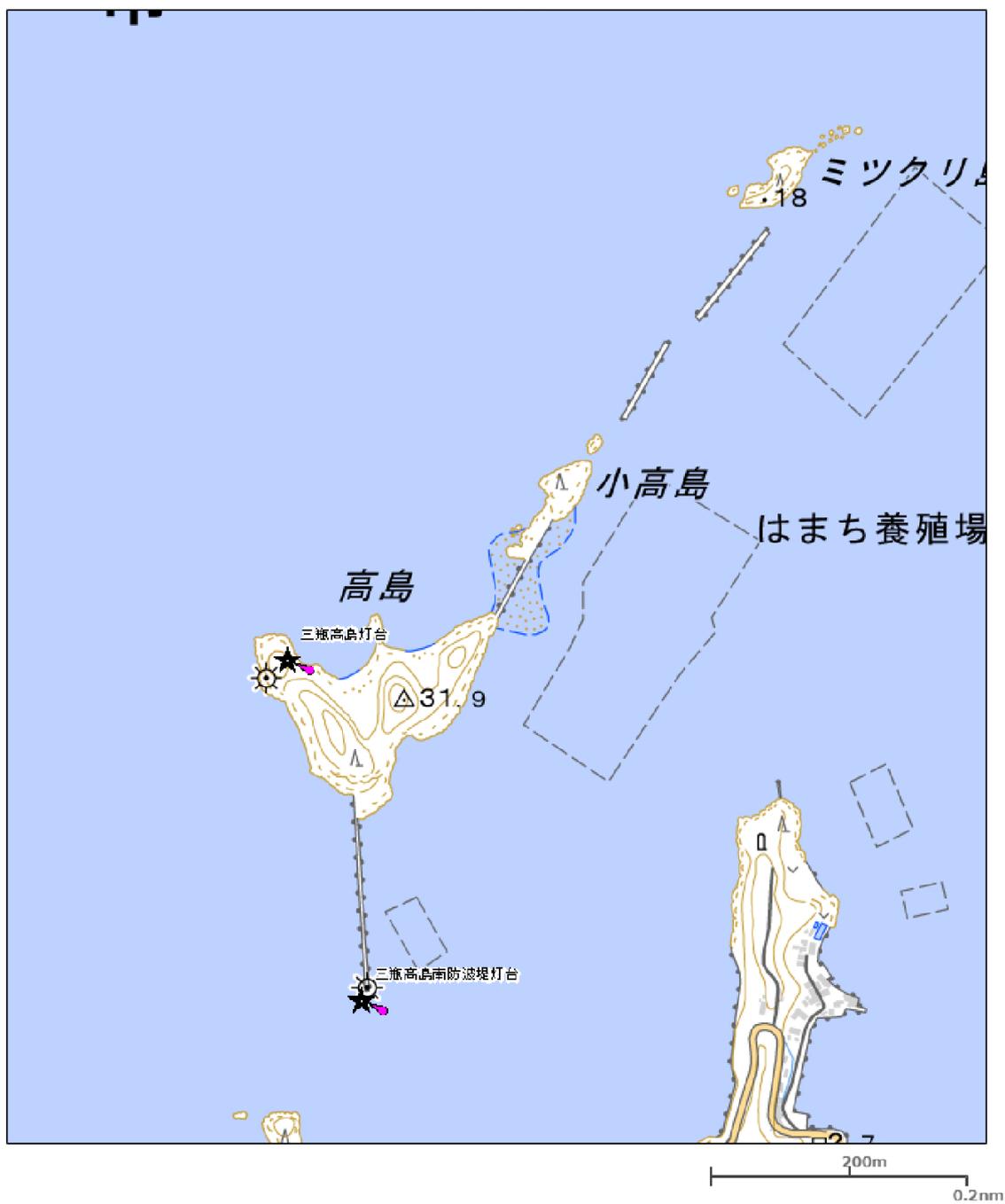
三瓶湾の南側入り口でもある下泊の沖合の高島にあるのが「三瓶高島灯台」です。

三瓶町は、ここが最後で下泊から先は、明浜町となりますが国道とはいえ未整備で狭い曲がりくねった路を行くと大崎鼻です。

【三瓶町周辺図】



【三瓶高島灯台周辺図】



○三瓶高島灯台要項

所在地 愛媛県西予市三瓶町（高島北西端）

塗色・構造 白色、塔形

灯 質 群閃白光 毎 14 秒に 3 閃光

光達距離 5.0 海里 (約 9 km)

高 さ 地上から構造物の頂部まで 8.1m

平均水面上から灯火まで 38.0m

地上から灯火まで 7.98m

点灯年月日 昭和 3 9 年 1 月 17 日

★「大八車」No.233 (令和 3 年 6 月 10 日発行) 掲載分

○三瓶高島灯台及び周辺

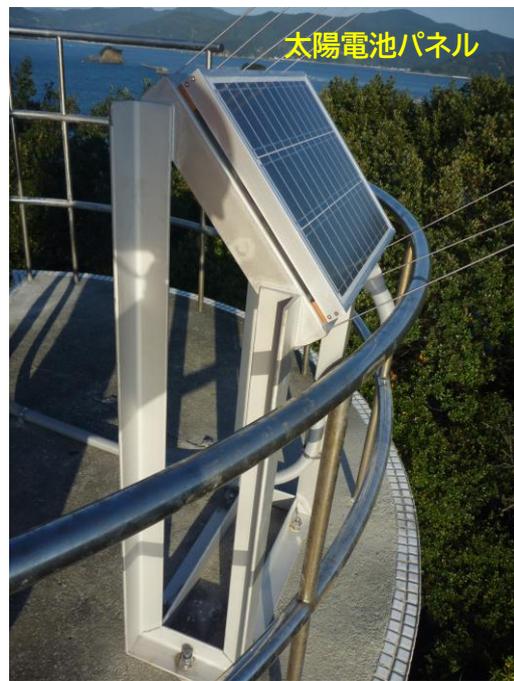




灯室内



LED 灯器



太陽電池パネル

【参 考】

○三瓶高島南防波堤灯台（みかめたかしまみなみぼうはていとうだい）



所 在 地 愛媛県西予市（高島防波堤外端）

点灯年月日 昭和50年12月25日

塗色・構造 白色 塔形

灯 質 単閃緑光 毎3秒に1閃光

光 達 距 離 5.0海里（約9km）